



Industrial Infrastructure Group

産業インフラグループ



常務執行役員
産業インフラグループCEO

太田 光治

事業概要

- 産業プラントや社会・エネルギーインフラの建設・供給および関連事業投資、船舶保有運航・トレーディング、宇宙関連事業、防衛装備品取引等
- 工作機械・農業機械・エレベーターのディストリビューション事業、ファシリティマネジメント事業、建設機械レンタルを含む建設ソリューション事業等

当グループの強み

- 製造業、建設業、農業、海運、交通・電力インフラ、オイル&ガス産業等、さまざまな産業との接地面積および業界知見
- 豊富なビジネスモデルを有するグループの特性を活かした、新規事業を構想する土台としての強み
- 業界キープレーヤーへの機能提供を通じて培われた、各事業領域における強固なパートナーシップ



MCシッピングロンドン支店(イギリス)

フィリピン南北通勤鉄道延伸鉄道システム納入(フィリピン)

液化天然ガス受入基地事業(バングラデシュ)

Calik Enerji(トルコ) インフラ事業

カイロ地下鉄4号線車両・鉄道システム納入(エジプト)

熱間圧延機建設(インド)

Mitsubishi Elevator India(インド) インドでの三菱電機エレベーター 製造・販売・保守会社

Mitsubishi Elevator Thailand(タイ) エレベーター販売会社

T.S.K Diamond Rental(タイ) 建機レンタル会社

Berlian Amal Perkasa(インドネシア) 建機レンタル会社

MCシッピング シンガポール支店(シンガポール)

船舶保有・運航事業 ばら積船、LNG船、アンモニア輸送船等の船舶保有・運航

(日本)

- 千代田化工建設:総合エンジニアリング企業
- レンタルのニッケン:レンタルの総合サービス会社
- MCシッピング:当社保有船運航管理/事投先管理/トレーディング事業
- 三菱商事マシナリ:EPCトレーディング事業
- 三菱商事テクノス:工作機械・産業機械販売
- エム・エス・ケー農業機械:農業機械等のディストリビューション事業
- ALSOK双栄:ファシリティマネジメント事業
- 日本スペースイメーjing:衛星画像データ・サービスの販売

MC Machinery Systems(米国) 米国での工作機械 ディストリビューション事業を展開

FPSO備船事業(ブラジル) 超深大深対FPSO備船・操業・保守事業

環境認識	
リスク	機会
- 原材料費・輸送費等の高騰や金利の上昇による、既契約案件の採算悪化 - ロシア・ウクライナ情勢をはじめとする、地政学リスクに起因する既存事業への影響	技術革新・デジタル化や低環境負荷等、対面業界において多様化・複雑化するニーズに応えるサービスやソリューションの提供

中期経営戦略2024
における戦略

- 循環型成長モデルを意識し、明確に差別化できる機能・強みを磨きながら経営資源の集約・入れ替えを推進
- 千代田化工建設(株)再生の遂行
- 建設ソリューション事業、次世代海運事業、宇宙関連事業等、グループの枠を超えて大きく育つ可能性のあるビジネスの開発を加速

中期経営戦略2024進捗

次世代海運事業の推進

- 海上輸送の低・脱炭素化

既存船への燃費削減デバイスの取り付けや重油以外の船用燃料の使用検討等、最新技術の導入による海運業界の低・脱炭素化を推進



次世代エネルギーとしても期待されるアンモニアの輸送船

- 次世代エネルギーやCC(U)S[※]の導入に向けた海上輸送網の整備

次世代エネルギーやCO₂の輸送船および港湾の設計・整備等に検討初期段階から関与し、脱炭素社会実現の上で必要不可欠な海上輸送網確立に貢献

- 海上DXの推進

自律運航や船員のWell-Being・省人化等に向けた取り組みを推進

※CC(U)S:Carbon dioxide Capture, (Utilization) and Storage。分離回収したCO₂を有効利用(CCU)、または貯留(CCS)すること

主要な成長ドライバー

広い産業接地面積を有する当グループにおいても、それぞれの事業分野でEX・DX関連投資を促進し、ビジネスを成長させていくことを目指します。

DXに関しては建設ソリューション、ファシリティマネジメント、プラントエンジニアリング等、EXに関しては次世代海運事業等が主な投資対象になると考えており、EX・DXをツールに各対面業界の課題解決を通じた成長を図っていきます。

